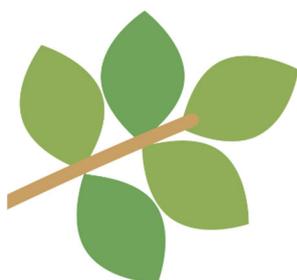


一般社団法人複合リスク学際研究・協働ネットワーク

2024 年度 定時社員総会

議案書



2024（令和6）年度 定時社員総会議案

1. 2023（令和5）年度事業活動報告
2. 2023（令和5）年度収支決算報告
3. 2024（令和6）年度事業活動計画
4. 役員について

1. 2023（令和5）年度 事業活動報告

1 事業の実施内容

2023年度、当法人は、東海村より受託した「社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり推進業務委託」において、「地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業」の対象研究の選定、推進支援、成果報告の場として TOKAI 原子力サイエンスフォーラムの企画と実施支援を行った。また、来年度は、東海村の研究支援事業開始から10年を迎えることから、今後の活動について村担当課とオンラインで議論し、山田村長の意向を踏まえ、企画運営委員会への提案内容を作成した。企画運営委員会の議論により、若手研究者支援は一旦終了し、過去の採択者からのメッセージをリレー形式で発信し、成果をまとめて電子図書館に納めることとなった。

また、当法人の設立目的である学際研究ネットワークづくりのため、東海村事業に採択及び関心をもった研究者らに呼びかけ、Tonerico 研究会を開催した。

2023年度第1回研究会（話題提供：庄司貴俊氏） 2023年5月19日

総会を下記のとおりオンラインで開催し、活動内容や複合リスク問題についての意見交換を行った。

社員総会兼第6回理事会 2023年4月25日

2. 2023（令和5）年度 収支決算報告

※別紙「決算報告書」参照

貸借対照表

一社複合リスク学際研究・協働ネットワーク
全事業所

[税込] (単位:円)
2024年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金

8,944

普通預金

536,460

現金・預金計

545,404

(その他流動資産)

立替金

77,008

その他流動資産計

77,008

流動資産合計

468,396

資産合計

468,396

《負債の部》

【流動負債】

仮受金

1,500,000

流動負債合計

1,500,000

負債合計

1,500,000

《正味財産の部》

前期繰越正味財産

851,479

当期正味財産増減額

180,125

正味財産合計

1,031,604

負債及び正味財産合計

468,396

財 産 目 録

一社複合リスク学際研究・協働ネットワーク
全事業所

[税込] (単位:円)
2024年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	8,944	
普通 預金	536,460	
三菱UFJ銀行	<u>(536,460)</u>	
現金・預金 計	545,404	

(その他流動資産)

立 替 金	77,008	
土屋智子	<u>(77,008)</u>	
その他流動資産 計	<u>77,008</u>	

流動資産合計 468,396

資産合計

468,396

《負債の部》

【流動負債】

仮 受 金 1,500,000

流動負債合計 1,500,000

負債合計

1,500,000

正味財産

1,031,604

損益計算書

一社複合リスク学際研究・協働ネットワーク
全事業所

[税込] (単位:円)
自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日

【経常収益】		
【受取寄付金】		
受取寄付金	60,000	
【事業収益】		
受託事業収益	923,573	
【その他収益】		
受取利息	9	
雑収益	30,510	
経常収益計		1,014,092
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料手当(事業)	72,000	
人件費計	72,000	
(その他経費)		
諸謝金	45,000	
会議費(事業)	11,770	
通信運搬費(事業)	860	
消耗品費(事業)	941	
租税公課(事業)	200	
支払助成金	883,300	
雑費(事業)	5,940	
その他経費計	948,011	
事業費計		1,020,011
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
会議費	23,375	
通信運搬費	2,090	
リース料	5,238	
租税公課	140,900	
雑費	2,603	
その他経費計	174,206	
管理費計		174,206
経常費用計		1,194,217
当期経常増減額		180,125
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		180,125
当期正味財産増減額		180,125
前期繰越正味財産額		851,479
次期繰越正味財産額		1,031,604

3. 2024（令和6）年度の事業活動計画

- (1) 東海村より受託した「社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり推進業務委託」において、過去の採択研究者によるリレーエッセイの発信を支援する。

<業務内容>

東海村が原子力に関わる社会科学・政策科学の知を集約する研究拠点の一つとなり、その成果をまちづくりに活かしていくために、研究のネットワーク化と人材育成を図ることを目的として、「地域社会と原子力に関する社会科学の研究（以下「社会科学研究」とする）の成果を発信する。

- ① 社会科学研究に関する「広報とうかい」への記事連載
 - ・社会科学研究の選考委員及び過去の採択者への執筆依頼と原稿確認
 - ・執筆者への謝礼支払い等に関する事務
- ② 社会科学研究成果の電子書籍化
 - ・前項連載記事の全体監修及び電子書籍化作業
 - ・電子書籍の公開
- ③ その他、社会科学研究の成果発信に関すること

契約額 金447,700円（消費税相当額を含む）

(2) Tonerico 研究会の継続実施

2023年度は1回に終わったため、より積極的に働きかけを行い、研究交流の場をつくる。これまでは報告希望者にテーマを委ねていたが、今後はテーマを設定した研究会も検討する。

- (3) 「地域社会と原子力に関する社会科学研究会（仮称）」の企画立案を行い、2025年度開催に向けた準備を行う。

<企画運営委員会で提案されたアイデア>

- ・若手研究者育成事業の後継事業として、多様な社会科学研究者が集う場を企画する
- ・主催は東海村として、他自治体は共催や協力、協賛のような形で関与してもらうような研究大会あるいはシンポジウム
- ・大会運営・企画は、これまでの採択者に相談して、複数のセッションを設け、参加費無料で村民にもオープンな場にする。
- ・若手育成からアウトリーチへと発展させる
- ・育てる事業から育ちつつある人を応援する事業に転換

- ・シンポジウムを開催した後で、自発的に研究会が発足していくとよい
- ・発表者は公募方式で募り、時間制約で5人くらいを査読して選ぶ
- ・村民投票で賞金を出すこともある。村民に投票権を与えて、もっとも印象的だった研究を表彰することもある
- ・最初は数名の招聘者の講演会から始めて、その後多様な分野を加えていくような形で発展させていく。
- ・別の科学技術の研究者からみると原子力はどう見えるかなどは異なる領域・対象を扱うもので、日本国内にこれまでなかった複合的な議論の場をつくるという提案
- ・これまでの研究提案になかった倫理や哲学、組織論などの問題を研究している人を発掘する。

4. 役員について

役員（代表理事、理事および監事）は、引き続き、現行役員が担う。

代表理事 谷口武俊

理事 寿楽浩太、菅原慎悦、土屋智子

監事 小杉素子

任期：2024年4月23日～2026年6月30日までに開催される定時総会まで

報酬等：なし